



ひろば



令和8年10月26日発行



リュウキュウアユ産卵地整地作業

☆ 住用小のあゆみ ☆

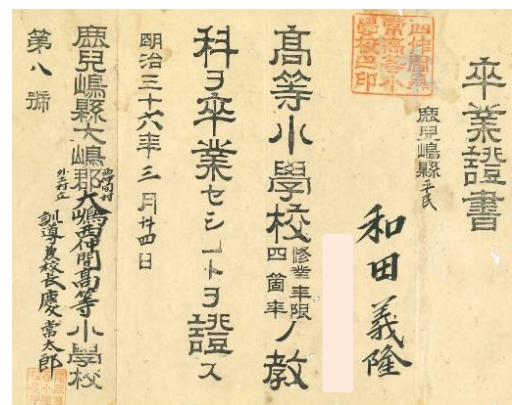
校長 福本 淳一

平成22年10月20日（今から16年前）、奄美地方は豪雨災害により3人の尊い命が奪われてしまいました。過去に経験のないほどの降雨により、土砂災害による交通遮断や床上浸水等の甚大な被害が発生しました。当時、住用小学校の児童（57人）は帰宅困難となり、学校で一夜を明かすことになりました。今年度の「奄美豪雨災害の日」には、当時小学5年生として学校で一夜を過ごした満永浩輝さんと與島大嘉さんのお二人をお招きして、当時の様子やその時のお気持ちをお話ししていただきました。

右の写真は、当日学校で過ごした際に撮影されたものです。雨がどんどん激しくなり、裏山からの濁流であつという間に校庭は池のようになり、激しい雨で視界が遮られ外の様子が全く分からなかったそうです。翌日、満永さんが帰宅すると自宅は浸水しており、2ヶ月余り祖父の実家で過ごしたとのことでした。與島さんは自宅へ帰ることができない状況だったため、一週間程度、学校の体育館で過ごされました。寒さをしのぐために体育館のカーテンを身体に巻き付けたり、水道が使えないためトイレ使用後に水を流す作業に苦労したりしたとお話してくださいました。お二人はこの経験から、災害への備えとして正確な情報の把握や非常用持ち出しバッグの準備を心がけているそうです。災害に対して「自分は大丈夫」という楽観的な思考は危険であることも、改めて学ぶことができました。



奄美地方は過去にも多くの風水害に見舞われてきました。先日、西仲間在住の和田美智子さんが貴重な資料（右写真）をお持ちくださいました。これは、和田さんの父である義隆さんの卒業証書（明治36年3月）です。この資料が残されてきたエピソードを美智子さんに伺いました。平成2年の台風による水害で自宅が床上浸水した際、母のすみさんが「この袋を天袋に投げろ」と美智子さんに言われたそうです。美智子さんは一大事の最中にごみ袋のようなものがなぜ大切なのか不思議に思いました。その3年後にすみさんが他界され、遺品を整理している際にあの中身を開けると、義隆さんの卒業証書や給与明細、資格証明書が出てきたそうです。驚くと同時に「戦時下で空襲を受け自宅が焼けた時も、母はこれを持って避難したのだ」と思い、和田家の財産として今なお大切に保管されています。すみさんの思いを受け継ぎ、美智子さんご自身もご家族の歩みや成長記録を大切に残し続けていらっしやいます。



今回、栄修一さんからも貴重な資料をお借りして住用小の深い歴史を学ぶことができました。次回、整理して紹介いたします。皆様のお手元にある資料や思い出をぜひお教えいただけますと幸いです。地域の歴史として学校から広く発信していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

心の健康教室

9月25日(金)、5・6年担任とスクールカウンセラーによる「不安や悩みへの対処」をテーマとした授業を行いました。

授業ではまず、「不安や悩みは誰にでもある当たり前の感情」であることをみんなで確認しました。その上で、自分が不安や辛さを感じたときにどう対処しているかについて、児童同士や教員を交えて意見を出し合いました。

また、「もし友達が辛そうにしていたら、自分には何ができるか」という視点でもそれぞれの考えを深めました。友達の気持ちに寄り添う姿勢の大切さに気づく貴重な機会となりました。

授業後の感想では、「自分一人で抱え込まず、誰かに相談することも大切な対処法」という声もありました。ご家庭でもぜひ、不安や悩みがあるときの対処法について話題にしてみてください。



あまみ FM 出演

9月28日(月)から10月1日(木)までの4日間、全児童8人が「あまみエフエム」の昼の番組に出演しました。

クイズへの挑戦や自作の作文を堂々と朗読し、貴重な体験となりました。子供たちに表現の場と素晴らしい機会をくださった「あまみエフエム」の皆様、温かい放送を本当にありがとうございました。



地震・津波避難訓練

9月30日(水)、消防分駐所から富さんと中山さんをお招きし避難訓練を行いました。子供たちは「無言で迅速に」避難でき、お褒めの言葉をいただきました。

講話では、避難場所の確認や防災グッズの準備など、日頃の備えや冷静な行動の大切さを学びました。万が一に備え、今後も自らの命を守る防災教育を推進してまいります。



「性といのち」の授業

10月8日(木)、やどりぎ助産院の藤先生をお招きし、「性に関する学習」を実施しました。授業では、心と体の変化や人との距離感(パーソナルスペース)、プライベートゾーンの大切さについて、分かりやすい資料とともにお話をしていただきました。

小・中学生期は、心身の変化とともに人との適度な距離感に悩み、精神的な負担を感じやすい時期でもあります。自分も相手も大切にすること、互いの違いや良さを認め合うことです。ご家庭でも話題にしてください。子供が相手を思いやりながら心地よい距離感を保って生活できるよう、温かく見守っていただければ幸いです。



～11月の主な行事予定～

- 1日(日) 地域が育む「鹿児島の教育」県民週間(～7)
- 4日(水) 「心の教育の日」道徳授業 13:55～
- 5日(木) 小・中音楽発表会 14:29 出演予定
- 8日(日) 第19回市民体育祭
- 13日(金) 園・小中学校学習発表会 9:00 開演
- 17日(火) 読書祭り
- 19日(木) 特別支援学級交流学習会
- 20日(金) 低学年集合学習
- 27日(金) 児童総会